



2月25日 鮭文化祭&おおつちバラエティショー

2月25日(日)大槌町鮭文化祭、おおつちバラエティショーが開催され、多くの方が会場を訪れました。落語家桂枝太郎さんの講演で幕を開けた鮭文化祭では、新巻鮭の歴史を紐解くディスカッションが行われ、集まった観客は、普段知ることができない鮭にまつわる話に聞き入っていました。午後の部は、おおつちバラエティショーのステージ。恒例となった演劇部門の新作「郷の花嫁〜サケの町でもコイしたい!」や、大槌学園6年生による大槌孫八郎の演劇、各種団体の歌やダンスが披露され、会場には笑い声が響きました。この日は、内陸に住む町出身者も多く訪れ、大槌訛りの演劇を懐かしそうに楽しんでいました。



3月4日 第2回大槌町吹奏楽ジョイントコンサートが開催

町内の学校の吹奏楽部と、大槌ウインド・オーケストラなどが一堂に会する「大槌町吹奏楽ジョイントコンサート」の第2回目の公演が3月4日(日)、城山公園体育館で行われました。町内の吹奏楽団に加えて、町出身のトランペット奏者、臺隆裕さんや、エル・システムジャパンバイオリン教室の子供達らにより賑やかなステージが披露されました。話題の曲や、楽しいMC、アンコールのひょっこりひょうたん島のテーマに、会場は大きな盛り上がりを見せ、出演者、観客全てが一体感に包まれる中、幕を閉じました。



3月1日 東梅武保さんに総務大臣表彰
～選挙管理委員として尽力～

大槌町選挙管理委員会委員長を務める東梅武保さんが、長年にわたり選挙管理委員を務められていることに加え、第48回衆議院議員総選挙において選挙事務の管理執行や明るい選挙の推進に尽力したことにより、第48回衆議院議員総選挙に係る総務大臣表彰を受賞され、3月1日(木)、町長に報告しました。東梅さんは、「一番苦労したのは震災の時。必ずやらなければならなかった町長選挙でした。この表彰は、私個人ではなく、大槌町選挙管理委員会として頂いたものと大変うれしく思っています」と喜びを語りました。



3月12日 決意を英語でプレゼンテーション
～フォートブラッグ市派遣生団結式～

大槌町姉妹都市生徒間交流事業により、カリフォルニア州フォートブラッグ市へ向かう派遣生7名が3月12日(月)、出発前の団結式を行いました。10回目の派遣生となる生徒たちは、自らの決意や自己PRをそれぞれ英語で発表し、町長や家族から激励を受けました。本事業では、3月15日～24日までの派遣期間終了後、町内向けの報告会を予定しています。



3月20日 釜石市と定住自立圏形成協定を締結

3月20日(火)、大槌町と釜石市が、連携と協力により、都市機能を整備するとともに生活機能を確保し、釜石・大槌圏域の活性化を図り、魅力ある定住自立圏を形成することを目的とする、「定住自立圏形成協定」の締結式が、釜石市役所において行われました。本協定は、医療・福祉・教育・産業振興・防災・地域公共交通・地域内外との住民との交流、移住促進・人材育成といった各分野において、大槌町と釜石市が役割を分担して連携を図り、また補完し合うことで、より良い住民サービスを目指していきます。



感謝と決意胸に
晴れの門出
大槌学園・吉里吉里学園
卒業式

3月14日(水)、町内小中一貫教育校、大槌学園、吉里吉里学園の卒業証書授与式が行われ、大槌学園77名、吉里吉里学園23名の卒業式が、門出を迎えました。

大槌学園在校生代表の道又由宇さん(1)は、「先輩方は新しい事への取り組みにおいて、妥協することがありませんでした。新校舎に移り、初めて1学年から9学年まで全校で行われた体育祭の閉会式で、全員で肩を組み、一つになった時の喜びを忘れません。未来へ進む先輩方を、全力で応援しています。」と卒業する先輩方へ呼びかけました。

卒業生代表の高木李子さん(2)は在校生に、「良き伝統を受け継ぎ、みんなが笑顔になれる大槌学園を築き上げていって下さい。」と言葉を贈ると、続けて「これから、苦難に出会うこともあるかもしれませんが、この学園で得た力と仲間がきつと支えになってくれると信じ、自分らしく生きていきます。」と力強く決意を語りました。

吉里吉里学園では、在校生を代表し、堀合駿輔さん(3)が、「卒業生の皆さんは吉里吉里学園の新たな伝統を示してくださいました。この素晴らしい伝統と、行事や日常生活の中で何度も示していただいた生徒会スローガン『今を踏みしめて歩め!』の精神を、確かに引き継ぎ、さらに高めていきたいです。」と送辞を述べ、卒業生代表の東谷哉汰さん(4)は答辞の中で、先生や家族への感謝を述べるとともに、「これからの私たちは、自分たちの夢を実現させるべく努力し続けるとともに、一日でも早い復興の担い手となる力を備えていく努力もしていきます。」と決意を語りました。また、在校生に、「一生に一度しかない中学校生活を存分に楽しんでください」とエールを送りました。

式典では、両学園ともに在校生、卒業生による合唱が披露され、先生、友人、家族への感謝と、未来への希望が込められた素晴らしい歌声に、会場の多くの人が涙を流しました。

